

初めての試み。NETIS申請者をパネラーに！

建設技術展
2020近畿 ええもん使って、ええもん創る!

～ 近畿地方整備局主催 新技術活用シンポジウム を開催 ～

『新技術情報提供システム（NETIS）の役割と今後の展開』をテーマに、パネルディスカッションを行いました。新技術活用評価会議の建山委員長をコーディネーター兼パネリストにお迎えし、NETISの現状認識や課題などについて技術開発者の(株)大林組、東京製綱(株)の担当者を交え、開始から約20年を迎えるNETISの有効性や要望などをお話いただくとともに本省 公共事業企画調整課の矢野課長補佐からは、NETISの今後の展開、改良点などを説明いただきました。

今回、技術開発者が申請及び活用に至るまでのNETISのメリット、デメリットやNETISへの要望などを直接発言頂くのは、初めての試みであり、整備局、出展者や聴講された方も含め、新技術の活用をさらに進めるきっかけとなる内容となりました。

新技術活用シンポジウム

日時：令和2年10月21日(水)

10：45～12：15

内容：パネルディスカッション

＜コーディネーター兼パネリスト＞

・立命館大学教授 建山和由氏

＜パネリスト＞

・本省 公共事業企画調整課
課長補佐 矢野公久氏

・(株)大林組 伊藤政人氏

・東京製綱(株) 橋口寛史氏

主催：近畿地方整備局

パネルディスカッション テーマ

『新技術情報提供システム（NETIS）の役割と今後の展開』



多くの方々にご聴講いただきました。